

タイトル…『汐製菓会社の新作の
ポテチ2』

登場人物

汐（しお）（30代）

汐製菓会社の社長。モットーは「面白きことも無き世を面白く」。常に奇抜なアイデアで商品開発に挑む、快活でエネルギッシュな人物。

塩田（しおた）（30代）

汐の秘書。真面目で几帳面、そして心配性。汐の斬新な発想に振り回されがちだが、大の菓子好きで、密かに新商品開発にも関心を持つ。

第一幕…企画会議

（汐のオフィス。壁には奇抜なポスターやアイディアがびっしり貼られている。汐がデスクに座り、塩田がメモを取る姿で立っている。）

汐…（腕を組んで考え込む）塩田、最近世の中に面白いことって少ないよな。

塩田…（真面目な顔で）確かに、平凡な毎日が続いているように思います。でも、汐社長が開発する商品が人々の生活に彩りを与えているのでは？

汐…（ニヤリと笑う）その通りだ！だからこそ、俺たちはもっと驚くような新商品を作らなければならない。

塩田…（一抹の不安を抱えながら）今回はどんな商品をお考えですか？

汐…（勢いよく立ち上がり）ポテチだ！

塩田…（少し驚いて）ポテトチップスですか？
それはもう色々な種類が市場に出ていますが
…。

汐…（自信満々に）ただのポテチじゃない。俺
たちが作るのは「瓦せんべい並みに堅く、大き
いポテチ」だ！

塩田…（目を丸くして）えっ？そんなもの…ど
うやって食べるんですか？

汐…（笑顔で）そこが面白いところだろう！普
通じゃないものがウケる時代だ。これなら食べ
応え抜群、話題性も抜群だ！

塩田…（困惑しながら）確かにインパクトはあ
りますが、食べやすさも重要だと思います。お
客様が困るかもしれません。

汐…（意気揚々と）だからこそ面白いんだ！
困るくらいがちょうどいい。しかも、日本の伝

統的な瓦せんべいの強さを世界にアピールできる！

塩田…（ため息をつきながら）分かりました…でも、試作品は慎重に作りましょうね。

汐…（笑いながら）よし、早速開発部に連絡だ！「瓦せんべいポテチ」、その名も「瓦ポテチ」だ！

（塩田が急いでメモを取り、電話を取る。汐は満足げにうなずきながらオフィスを歩き回る。）

第二幕… 試作品の製作

（汐製菓の開発室。大きな機械が並び、研究員たちが忙しそうに働いている。汐と塩田が入ってくる。）

汐…（元気よく）みんな、お疲れ様！今日は特別な新商品の試作品をお願いする！

開発主任…（緊張しながら）社長、今回はどんなアイデアをお考えですか？

汐…（胸を張って）「瓦ポテチ」だ！

開発主任…（驚いて）瓦…ポテチ？それはどんな商品なんでしょうか？

塩田…（心配そうに）社長は瓦せんべいのように硬く、大きなポテチを作りたいそうです。

開発主任…（困惑しつつも）ええ…それはかなりの挑戦ですね。でも、やりがいがあります！早速取りかかります！

汐…（満足げに）その意気だ！最高に堅くてでかいポテチを作ってくれ！

（開発主任と研究員たちは、急いで作業に取り掛かる。塩田は不安そうに見守っている。）

第三幕… 試作品の試食

（試作品が完成し、汐と塩田が試食室に集まる。大きなテーブルに巨大なポテチが置かれている。）

汐…（目を輝かせて）すごい！これだよ、これ！見ろ、この大きさと硬さ！

塩田…（啞然として）確かに、これは瓦せんべい以上のインパクトですね…。でも、食べられるのでしょうか？

汐…（自信満々に）もちろんだ！さあ、試食だ！

（汐がポテチを持ち上げ、かじろうとする。しかし、ポテチは硬すぎて歯が立たない。）

汐…（苦笑いしながら）こ、これは…ちょっと硬すぎたかな…。

塩田…（心配そうに）社長、大丈夫ですか？
お怪我はありませんか？

汐…（笑って）大丈夫だ！でも、これはこれでいい。新しい発想が生まれたぞ！これを粉々に砕いて、ポテチフレークにするんだ！

塩田…（少し驚いて）ポテチフレークですか？
それなら食べやすく、色んな料理に使えそうですね。

汐…（楽しげに）そうだ！料理のトッピングにもなるし、スナックとしても楽しめる。しかも、あの堅さが良い食感になるだろう！

塩田…（微笑んで）社長、今回は私も賛成です。それなら国内外のお客様にも喜んでいただけるかもしれません。

汐…（興奮して）よし！「瓦ポテチフレーク」、これで決まりだ！早速商品化に向けて準備だ！

（汐と塩田が勢いよく立ち上がり、開発室に向かって歩き出す。）

第四幕…商品発表会

（商品発表会の会場。大勢のメディアやバイヤーが集まっている。ステージ上に「瓦ポテチフレーク」の巨大なパッケージが飾られている。）

司会者…（明るい声で）皆さん、お待たせしました！汐製菓の新商品「瓦ポテチフレーク」の発表です！社長の汐さんにご登壇いただきます！

（汐がステージに登場し、観客に向かって微笑む。塩田が少し後ろに控えている。）

汐…（元気よく）皆さん、こんにちは！今回の新商品は、これまでにない驚きと楽しさをお届けします。「瓦ポテチフレーク」です！

観客…（ざわざわとしながら）瓦…ポテチフレ
ーク？どういふものなんだろう？

汐…（笑顔で）これは硬さと食感が特徴の新
しいポテトチップスです。そのまま食べるも良
し、料理に使うもよし、様々な楽しみ方がで
きます！

塩田…（真剣に）お客様の声を大切にし、ど
の世代の方にも楽しんでいただける商品とな
っております。

汐…（自信たつぷりに）そして何より、これは
面白い！私たち汐製菓は、これからも皆さん
の生活に笑いと驚きをお届けします！

観客…（拍手喝采）すごい！面白そうだ！試
してみたい！

第五幕…商品の成功

（数ヶ月後、汐製菓のオフィス。新聞や雑誌に「瓦ポテチフレーク」の成功を報じる記事が並んでいる。汐と塩田が笑顔で話している。）

塩田…（笑顔で）社長、瓦ポテチフレーク、大成功ですね！メディアでも取り上げられて、売り上げも好調です。

汐…（誇らしげに）そうだろうか？奇想天外な発想こそが人々の心をつかむんだ！

塩田…（感慨深げに）今回のプロジェクトを通じて、私も少し社長の発想に近づけた気がします。

汐…（笑顔で）それは良いことだ！これからもどんどん面白い商品を作っていこう！

塩田…（微笑んで）はい、社長。次はどんな奇想天外なアイデアが飛び出すのか、楽しみにしています。

（2人は笑い合い、未来に向かって新たな挑戦を始める。）

汐…（最後にカメラに向かって）さあ、次の「面白きこと」を見つけないか！

（幕が下りる。）

エンディング

（明るい音楽が流れ、エンドクレジットが表示される。）

ナレーション：「面白き」とも無き世を面白く」。汐製菓はこれからも、皆さんの生活に驚きと笑いをお届けします。次回の新作にもご期待ください！

（音楽がフェードアウトし、終幕。）